**第１回おおさかスマートエネルギー協議会・全体会議 議事概要**

開催日時：平成28年５月27日（金）１0時～１2時

場　　所：大阪府咲洲庁舎18階　会議室

**１．今年度の大阪府・大阪市の施策について**

　○大阪府、大阪市が今年度実施予定の施策についてアクションプログラムをもとに説明。

**２．今夏の電力需給見通し等について**

　○関西電力から、「今夏の電力需給見通し」および「電力システム改革」について説明。

【主な意見・質疑】

　・電力小売全面自由化に伴い、今後は、新規参入事業者（新電力）の需給も考慮して、エ

リア全体として、電力需給を評価する方法になる。

**３．国の政策動向について**

　○経済産業省から、「エネルギー革新戦略」（平成28年4月）の概要について説明。

　○環境省から、COP21合意を受けた今後の地球温暖化対策について説明。

【主な意見・質疑】

 ・地球温暖化対策の取組み「COOLCHOICE」の推進とともに、消費者も賢い選択をしていかないといけない。省エネは毎日の積み重ねであり、消費者がいかに細めに情報を得て、情報をもとに選択ができるかが大事。企業や行政も含めて、テレビやインターネットなどを通じて、消費者に対する細めな情報提供をしていただけるとありがたい。

**４．各団体からの取組み紹介**

　○オリックスより、環境・電力事業の取組みについて紹介。その他各参画団体より、セミナー、イ

ベント等の周知案内。

**５．今年度の協議会のテーマおよび進め方について意見交換**

○事前アンケートで出された会議に対する意見及び取り上げて欲しいテーマについて紹介。

○今年度の全体会議及び各部門会議におけるテーマ及びスケジュール案を説明。

【主な意見・質疑】

 ・4月の電力小売全面自由化以降、どの会社を選べばよいのかわからないなど、高齢の方を中心にいろいろと不安の声が多数寄せられている。

　→国から小売事業者に対して、「適正な電力取引についての指針」が示されており、そのなかで消費者に対して望ましい行為、望ましくない行為が例示されており、契約先を選ぶにあたり、参考にできる。

　・地球温暖化対策計画でも示されているように家庭部門の省エネ、省CO2の取組強化が必要不可欠であり、単なる啓発活動ではなく、削減量を見える化するなど実効力を持たせた取組方策を検討すべき。

以　上